

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営 1. 理念と共有			
1 ○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の皆様から信頼され愛される施設づくりを理念に努力していますが、交流の機会が少ない。	○	買い物や散歩の機会を増やし、地域の皆様とのふれあいを活発にしたいと思います。
2 ○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケース会議、カンファレンス等で理念に基づいた対応に心掛けています。		
3 ○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域のボランティアや幼稚園、保育園の慰問があり、皆様に理解していただけるよう法人全体で取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい			
4 ○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の方やOBの方に来て頂き料理のお手伝いや利用者との交流に心掛けています。	○	田畑の中に施設があり近所との交流が少ない為、買い物や散歩で日常的な交流を増やし孤立感のないようにしたい。
5 ○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	文化祭、小学校の運動会等に参加させていただき、交流に努めています。	○	今後、作品展等にも出展し、交流を深めていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	法人全体での取り組みとして、盆踊り大会やカラオケ同好会等があり、地域の方に親しみ楽しんでいただけるように心がけています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	問題点を理解し改善に向けて職員で話し合い、その場だけで終わらずに職員が継続的に関わり、利用者に反映できるように取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者の皆様が意見を出せるよう雰囲気作りに心掛けサービスの向上に心掛けています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設全体で市町村との連絡は密に行なっている。学校関係の実習もあり、その後カンファレンスでの意見を参考にし、向上に取り組んでいます。	○	グループホーム単独では、接する機械が少ない。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在そういうケースはないが、今後ケースが出た場合適切な対応ができるよう研修等で理解を深めたいと思います。	○	研修の開催で理解を深める。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修を行い徹底している。その他、利用者、職員同士の声かけや、帳票類の記録にも注意し、防止に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所契約時には十分な説明を行い、納得していただけるように心がけています。		
13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の会話や対話とふれあいの時間を作り、利用者の意見の反映、又利用者に変化が見られると個別に対話を行い、悩みや要望を聞き取り解決に向け取り組んでいます。		
14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時だけでなく、何かあれば電話報告を行い、家族との連絡は密に行っています。		
15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設に事故苦情委員会を設置しグループホーム内のみの問題でなく、施設全体で解決に向けた話し合いを行い今後の施設運営に生かせるように体制づくりに心掛けています。		
16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日法人内の各部署から出席し引き継ぎを行い、様々な問題や意見交換を行い改善に向けて取り組んでいます。		
	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	介護内容、業務内容を考慮し、勤務を柔軟に調整をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	なるべく職員の異動が少ないように配慮していますが、行う場合利用者の状態の引継ぎなど連携を図りスムーズに行えるようにしている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で研修委員会を立ち上げ、外部の研修にも参加し職員の質の向上に取り組んでいる。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会に参加し、意見交換で他施設の交流やサービスの向上に努めています。	○	実際に研修に参加した職員の意見を聞き、良い箇所は積極的に取り入れていき、サービスの質の向上に繋げて行きたいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	同じ部署の職員だけでなく、法人の職員との交流でストレス解消をしています。	○	個々の職員と話す機会を作り、ストレスを溜めていないか把握しておく。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の状況把握に努め、向上心を持って勤められるように心がけています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前の見学や面接時に話し合いや他者との交流を行い、職員だけでなく利用者と全員で迎え入れ不安なくスムーズに生活が送れるように配慮している。		
24	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の悩みなど十分話し合い、理解し共感しながら家族との信頼関係の構築に努めています。		
25	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	前記のとおり話し合いを行い、他のサービスも含めた説明で、何を求めているのか相互理解した上で入所決定を行っている。		
26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活風景の理解と利用者との交流を交え、利用者、家族に納得の行くサービス内容の説明に心掛けています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の用意から後片付けなど、生活をする上で必要な事は利用者、職員と共に行い信頼関係を築き支えあい過ごしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や外出・外泊等家族との時間も大切にし、職員も日頃の事を報告しながら楽しい時間が過ごせるように心がけています。		
29	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	前記のとおり家族との時間を有意義に過ごしていただいている。また、日頃の状態など職員が伝え家族との結びつきを大切にしている。		
30	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今までのかかりつけの美容院や病院への外出は、家族に協力していただき、友人の方の面会時には声掛けを行い継続して来て頂けるように配慮している。		
31	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個々が孤立することなく、皆様でお茶をする等交流を大切にし、利用者一人ひとり出来る事を見極め、助け合いながら一緒に生活できるように努めています。		
32	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院時は家族の意向を聞き、退院時の法人内への受入などできる限り関係を大切に心掛けている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	対応が困難な方には、職員で同様の対処を行い家族にも現状の報告を行います。
34	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		
35	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している		
37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌や生活記録、介護記録等で毎日の生活状態の把握に努め、それをもとに利用者に対しての理解と、次の段階に繋げている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に対し最善のサービスができるよう関係機関と話し合い対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	併設の特養に、音楽リハビリ体操・華道・カラオケ等のボランティアの先生が来て下さって、グループホームも参加し共に楽しませていただいています。		
41	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在のところはないが、希望・状態に合わせて関係機関と相談し適切に対応します。		
42	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に包括支援センターの職員に参加していただき、意見をいただいています。	○	包括支援センターとの連携を深め、適切な意見をいただき、施設運営に活かして行きたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望を尊重し家族の協力のもと自由に行っていただいている。他協力医療機関（他科）の往診も行っている。		
44	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	法人理事長が医師であり、診療所も併設しています。医師との連絡を密にし対応している。		
45	○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホーム内には看護職員は不在であるが、法人内には24時間常駐しており緊急時の対応や健康管理等相談をしている。		
46	○ 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	主治医や医療機関との連携を図り、本人や家族の意向を聞きながら、早期退院に努めている。		
47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族等の希望を尊重し施設や協力病院等、状態に合った対応がスムーズに出来るように体制を整えている。		
	○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者を含め家族や職員・関係者等と共に繰り返し話し合いを行い、利用者の希望に添った生活と終末期を迎えられるように準備・対応しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在のところ法人外への住み替えは無いが、法人内への入所はスムーズにでき利用者負担も少なかったように感じる。今後ケースがあった場合負担が少ないように配慮していく。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員全員が一人ひとりに対する言葉づかいや対応だけでなく、記録等の個人情報にも配慮しています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	出来る限り利用者の思いに応じられるように支援しています。また、説明においては職員を替えたり、時間をおいて再度対応を行っています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に過ごしていますが、時には職員の援助が必要な方もいますので、その人らしさを大切に日々暮らしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
	○身だしなみやおしゃれの支援	美容院等は利用者の行きつけのお店に家族の協力		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	美容院等は利用者の行きつけのお店に家族の協力 のもと行かれる方や、お化粧品や身だしなみについ ても本人の工夫を大切に、職員が見守りながら行 われています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆さんに聞きながら献立を立て、一緒に盛り付け、配膳等行っています。利用者と一緒に食事も行い、談笑しながら楽しい一時です。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が楽しめるように、お酒やおやつ等好みに合わせた物を用意し、出来るだけ日常的に楽しめるように心掛けています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりを尊重しながら、声かけ援助を行っています。また認知度により本人にとって負担のない排泄に心掛け支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	気が合う人同士との入浴や、本人が落ち着いた雰囲気の中で入浴出来るように職員も配慮を行っています。	○	曜日や時間を決めてしまっているの、一人ひとりの希望に対応までできていない、だが可能な限りに対応に心掛けたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安心して眠っていただけるように配慮しています。中には夜間目が覚める方等いますが、職員とお茶を飲みながら安心できる声かけにこころがけ、安眠できるように支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	役割分担をとり、声かけを行ったり他ノリを受け		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割分担もあり、声かけを行うことで引き受けで下さる方もいます。その他にも、季節に合わせた野外での野菜作りや、紙でボックス作りなど個々の好む事を見つけ支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	自己管理出来る方には一万円程度所持していただ き、園内販売の時など必要な時に使っていただ いています。	○	職員や家族と外出する機会を増やしていく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	身体的機能の低下がある為外出する機会は少ない が、日光浴や散歩・ドライブに出かけ、戸外に行 き季節を感じていただき孤立しないように心がけ ています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	本人が日常の会話の中で行きたい所の話が出た場 合、家族に報告し協力していただき、本人の希望 に添うように対応している。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援を している	本人の希望があれば一緒に行き、出来ない方には 職員が希望に沿った対応を行っています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地 よく過ごせるよう工夫している	いつでも自由に訪問していただき、ゆっくりと過 ごしていただけるように配慮している。帰る時 には続けてきていただけるように声かけを行って います。		
(4)安心と安全を支える支援				
	○身体拘束をしないケアの実践			

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等で職員全員が周知徹底しており、ストレスを感じないように自由に生活していただけるように心掛けています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室より外への出入り口（はきだし窓）には常に施錠しているが、夜間以外、玄関等他鍵をかける事なく過ごしています。外に行きたい訴えがある場合職員が付き添い散歩に出かけている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のプライバシーを配慮しながら、常に安全に過ごせるように昼夜を通して見守っています。	○	昼夜を通して見守っていますが、中には居室でのプライバシーを大切にされる方もいますので、訪室の際には必ず声かけを行います。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に応じて保管・管理させていただいていますが、必要な時には職員と共に使用していただいています。（裁縫道具・ナイフ等）		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、原因を話し合い、情報を共有しながら事故防止に取り組んでいます。	○	事後に対しての取り組みを行っているが、同じケースや同じ時間の事故あがるため再発防止に繋げて行きたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを作成し、職員でいつでも対応できるように備えています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の人々の協力は得られていませんが、定期的に法人全体やグループホームでの訓練を行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入所説明やその後、個々に考えられるリスクについて家族に伝え職員も注意し、抑圧感の無い様にも配慮している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々利用者の健康状態や食欲・排泄の有無を行い早期発見に努めています。気付いた時には速やかに看護師・主治医・家族に連絡し対応しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋があり各利用者の服薬・目的等全職員が理解しており確認に努めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者の毎日の排便状況を確認・記録し水分補給や食事の献立・内容等にも配慮していますが必要な場合、主治医の指示の下対応しています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後のうがいを行い、夕食後は歯磨きを習慣付けています。出来ない方には、職員が声かけ介助しています。		
	○栄養摂取や水分確保の支援	栄養バランスや、個々の食事・水分量の確保に努		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや、個々の食事・水分量の把握に努め確認し、合わせてその日の身体状態の把握にも努めています。機能低下や身体的変化が見受けられた場合、別に記録している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルがあり、発生時には主治医やマニュアルに基づいて対応を行う。予防具も準備して即対応できるように努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理等を含め職員が食材の鮮度・賞味期限に気をつけています。衛星管理点検表があり毎日チェックし万全に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	外からも日中の様子が伺えるように、透明なガラスになっており、周辺の庭には鉢植えがあり抵抗なく出入り出来るような雰囲気作りに心がけています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有フロアが広くゆったりとし、各自が自力で移動しやすく家具等設置しています。その他、季節が感じられるように花や外出時の写真を掲示し工夫しています。	○	空間作りに配慮しているが、スペースなどの問題点があり夏と冬など季節の変化に欠けているため、利用者の要望に配慮しながら工夫を行う。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりが好きな場所にはその人が好むものを置き工夫しています。新聞・雑誌・歌の本・花等です。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に家族と相談しながら個々に配置し支援している。入所後も状態や訴えに対して対応している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には常に気を配り定期的及び都度行っています。戸外との気温差が無いようにエアコンも冬は19℃、夏は28℃設定としています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	周りには手すりを取り付けられています。フロア全体も広く、シルバーカーや車椅子で移動しても、安全に移動できるように工夫しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者一人ひとりの状態や状況を把握し、職員がその人に合った声かけと援助を行っています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物が一階なので外がすぐ見えます。南側には小さな畑があり、野菜や花を植え楽しんでいます。暖かい日には、中庭に出て日光浴も兼ね作物の成長を楽しんでいます。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

・サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

広々とした明るい共有フロアの中で、皆様が自由に過ごされています。調理に始まり、食後の後片付けや洗濯等皆さん手伝いに来て下さり、他者との交流を深めながらお互いに助け合っています。皆さん仲が良く、笑い声が絶えず、職員と共に生活されています。季節感を体感してもらうように、プランターでの花植え・中庭での野菜作りなど四季折々皆様が楽しみを見つけ生活を送っています。